

BUSINESS REPORT

for the twelve-month period ended March 31, 2017

第92期 事業報告書

2016年4月1日～2017年3月31日

当社グループの業績

売上高	(前年同期比5.0%減) 36,337 百万円
営業利益	(前年同期比49.6%減) 671 百万円
経常利益	(前年同期比43.3%減) 836 百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	(前年同期比34.2%減) 688 百万円
一株当たり当期純利益	4円70銭

注記事項

※本報告書は平成29年4月28日発表の決算短信の数値、文章を基に作成しております。
その後公表される可能性がある訂正情報、業績予想の修正情報、決算の詳細につきましては金融庁EDINET、当社ホームページ「IR情報」掲載資料にてご確認ください。

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第92期の決算を終了いたしましたので、ここに当期の概況をご報告申し上げます。

事業の経過およびその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかながらも回復基調にあり、製造業等の生産活動は上半期には振るわなかったものの、下半期には回復に向かいました。海外の経済についても、減速が続いた中国など新興国の底入れ、原材料市況の反転などにより、徐々に回復に向かいました。

鉄鋼業界におきましては、粗鋼生産量は前年度比0.9%増の1億422万トンとほぼ前年度並となりました。

こうした中で、当社グループは、鑄鉄部門が業績向上となった一方、特殊鋼部門の業績低迷により、当連結会計年度の業績は、売上高36,337百万円(前年同期比5.0%減)、営業利益671百万円(前年同期比49.6%減)、経常利益836百万円(前年同期比43.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益688百万円(前年同期比34.2%減)となりました。

(2ページに続く)

代表取締役社長

河瀬 昌博



対処すべき課題

2016年度は、これまで成長セクターであった中国など新興国の成長鈍化やエネルギー市況の変動の影響を受け、予想以上に厳しい経営環境となりました。中期的には、これらに加えて為替の変動や、少子高齢化に伴う需要減などの不安定要素を抱えております。

こうした環境の中、当社グループは、昨年策定した2016～2020年度中期経営計画「CHANGE (Challenge And Generate) 20」に沿って、強靱な事業体質と安定した収益体質の構築に向け、着実に取り組んでおります。企業体質の変革に加え、既存事業の更なる強化と将来の成長戦略展開のため、「挑戦」と「創造」に邁進しております。

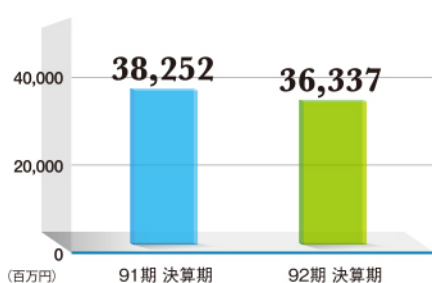
また、当社グループの行動規範である「社会と共生し、信頼される企業グループを目指す」を念頭に置き、安全活動、環境保全、防災対策、リスクマネジメント体制を強化するとともに、組織の活性化による明るい風土作りを図り、人材確保と育成に注力し企業基盤を強化してまいります。

株主の皆様には今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

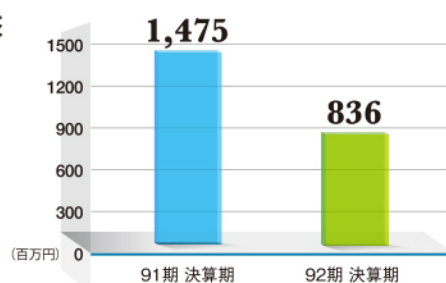
平成29年6月

》業績の推移（連結）

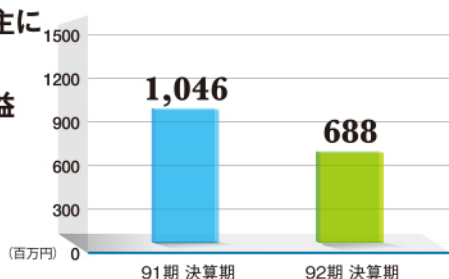
売上高



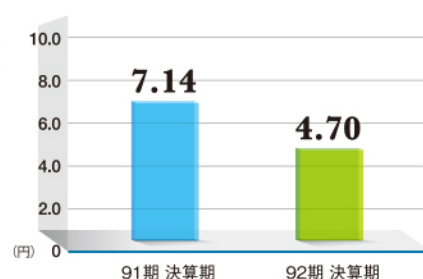
経常利益



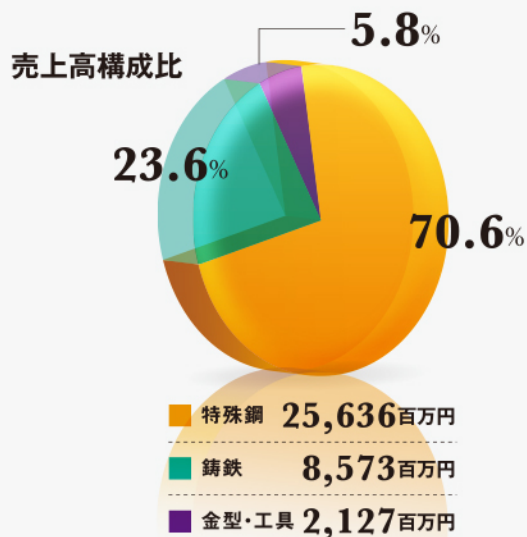
親会社株主に 帰属する 当期純利益



1株当たり 当期純利益



》セグメント別概況(第92期 決算期)



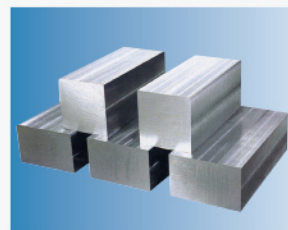
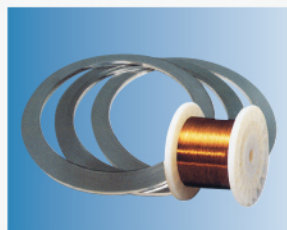
■ 鋳鉄部門 8,573百万円(23.6%)

主に建設機械向けの売上数量が増加し、当連結会計年度の売上高は8,573百万円(前年同期比3.9%増)となりました。損益面では、売上数量の増加に加え、原燃料コストの改善もあり、営業利益は662百万円(前年同期比33.8%増)となりました。



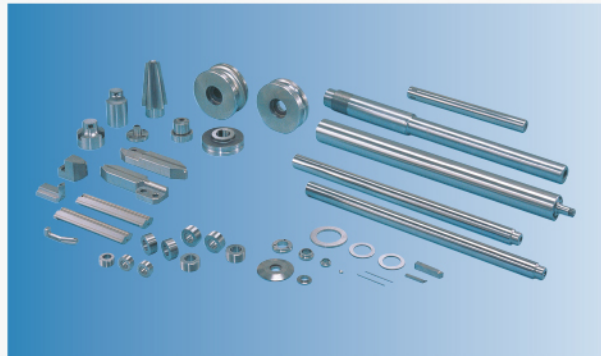
■ 特殊鋼部門 25,636百万円(70.6%)

新興国向け工具鋼等の売上数量が減少し、当連結会計年度の売上高は25,636百万円(前年同期比8.0%減)となりました。損益面では、原燃料コストの改善などの増益要素があったものの、販売価格の下落、製造コストの増加等から、95百万円の営業損失(前年同期は705百万円の営業利益)となりました。



■ 金型・工具部門 2,127百万円(5.8%)

自動車部品用の金型がほぼ前年度並に推移し、当連結会計年度の売上高は2,127百万円(前年同期比0.3%減)となりました。損益面では、固定費が増加し、営業利益は103百万円(前年同期比20.5%減)となりました。



日本高周波鋼業グループ2016~2020年度中期経営計画 CHANGE (Challenge And Generate) 20

経営方針

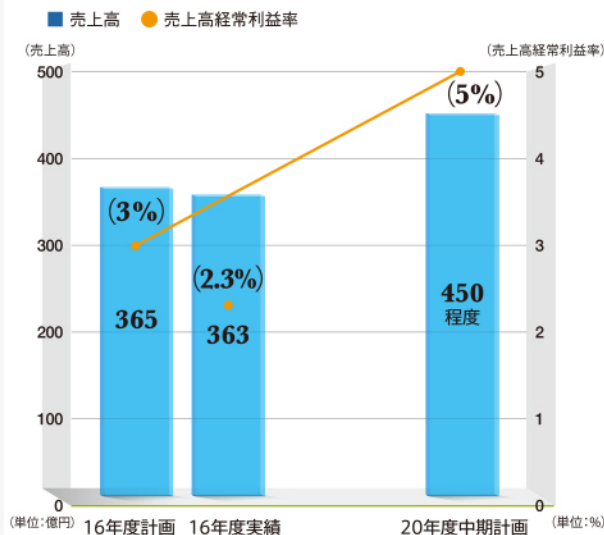
当社グループは、工具鋼、特殊合金の非量産型高級特殊鋼製品、鋳鉄製品及び金型・工具製品の製造販売を通じ、幅広い産業分野(自動車、エレクトロニクス、産業機械、エネルギー、住宅他)へ優れた製品を提供して顧客及び社会に貢献してまいります。

中期基本方針 (20年度VISION)

- ブランド力向上 - 高付加価値化の推進
- Q(品質)、C(コスト)、D(納期)競争力の強化
- 事業領域の拡大
- 神戸製鋼グループにおける役割強化

数値目標

■ 中期最終年度(2020年度)での達成目標



部門別重点施策

■ 特殊鋼部門

① 高付加価値製品の拡大

工具鋼分野：高級金型用鋼、素形材を重点分野として拡大を図ってまいります。
特殊合金分野：小ロット対応力を活かした溶接材料、特殊品分野での需要の取り込みに加え、高機能自動車部材への拡販を推進いたします。
両分野共通：拡販支援の為、要員増強により技術サポート機能を強化してまいります。

※ 2016年度は高付加価値化の一環として、3000トンプレスのマニピレータ大型化工事に着手しました。稼動開始は2017年度下期からの予定です。

② コスト競争力強化

共通的な製造コスト低減と重点製品の製造コスト低減に向け、設備投資を積極的に実施いたします。

※ 2016年度は省エネルギーおよび製造工程の高効率化の為、鍛造工程の加熱炉・熱処理炉の燃料転換工事および分塊ミルの改造工事に着手しました。

③ 技術開発の推進

2016年度以降の事業の柱となる製品の創出を図ってまいります。また、生産技術も継続して強化してまいります。

※ 国立研究開発法人 科学技術振興機構の「戦略的創造研究推進事業」のテーマの一つである「磁歪式振動発電の共同研究」に参画しております。

④ 品質の向上

設備管理の徹底により操業トラブル起因の不良損失低減を図るとともに、計測装置の導入推進による「品質の見える化」を強化し品質の向上に注力いたします。

⑤ 安定生産の維持

設備管理機能強化(要員増強他)により故障リスクの低減に努めます。また、重要予備品の充実により、重大故障発生時の休止期間のミニマイズ化を図ってまいります。

⑥ 神戸製鋼グループとしての役割強化

小ロット特殊品の取り込みを進めてまいります。

※ (株)神戸製鋼所の上工程集約化に対応し、生産・品質の管理体制を整備いたします。

■ 鋳鉄部門

事業基盤を整備し、安定的に売上高100億円を超える事業規模を目指すとともに品質及びコスト競争力の向上により収益力を強化してまいります。

※ 造型新ラインへの移行を2016年度に完了しました。

■ 金型・工具部門

高付加価値製品の拡販に加え、金型の設計から製作まで一貫したツーリングメーカーへの展開を図るとともに、設備投資によりコスト競争力の強化に取り組んでまいります。

》第93期業績予想

平成29年4月28日に発表いたしました通期の業績予想は以下の通りです。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	一株当たり当期純利益
39,400 百万円	1,000 百万円	1,050 百万円	750 百万円	5.12 円

業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化により異なる業績結果となることもありますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えていただきますようお願いいたします。

》配当状況

当社は定款において9月30日(第2四半期末日)及び3月31日(期末日)を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

	1株当たり配当金(円)			配当金総額 (年間) (百万円)	配当性向 (連結) (%)	純資産配当率 (年間) (%)
	上半期末	期末	年間			
第93期	0.00	未定	未定	—	—	—
第92期	0.00	1.50	1.50	219	31.9	1.1

GROUP TOPICS

富山県県土美化推進県民会議会長より表彰

日本高周波鋼業(株)富山製造所は4月25日、富山県の平成29年度県土美化推進県民会議総会において表彰状を授与されました。

これは、同製造所が平成14年から参加している富山県射水市のアダプトプログラム(※)の活動として製造所周辺・万葉線海王丸駅・新湊漁港での空き缶・ごみ拾いや除草作業などに取り組んできたことが、多年に亘るきれいな県土づくりへの貢献と認められたことによるものです。

富山製造所では、今後も引き続き清掃・美化活動を行い、地域社会に貢献していきます。



※道路や公園などの公共の場所を市民、事業者のボランティアで清掃・美化活動を行う制度

(株)カムス 表面処理事業海外展開

(株)カムスは、中華人民共和国の深圳市和勝金属技術有限公司に冷間プレス金型用表面処理技術(マカオンコートKS-G)をライセンス供与し、同社は2017年4月より中国国内にて当技術による表面処理(※)を開始しました。

マカオンコートKS-Gは、冷間プレス金型用に開発された表面処理皮膜で、自動車骨格部品への使用が増加している「ハイテン鋼板」を成形する金型の寿命向上に効果があり、日本国内の多くの自動車関連ユーザーから好評を得ております。

今後、中国国内でのハイテン鋼板使用の増加を見込み、今回の技術提携により日系自動車メーカーを中心とする表面処理需要に対応してまいります。



※表面処理・・・金型の表面に金属皮膜を施すことにより、金型の磨耗・焼き付きが低減され、金型寿命が向上します。

》連結財務諸表

連結貸借対照表

	平成28年度 (平成28年3月31日現在)	平成27年度 (平成27年3月31日現在)
資産の部	40,551	39,955
流動資産	19,251	18,823
現金及び預金	197	146
預け金	1,319	889
受取手形及び売掛金	7,572	7,361
製品	2,938	3,099
仕掛品	3,643	3,689
原材料及び貯蔵品	2,964	3,117
繰延税金資産	446	424
その他	180	103
貸倒引当金	△10	△10
固定資産	21,299	21,132
有形固定資産	19,438	19,297
建物及び構築物	3,510	3,600
機械装置及び運搬具	6,321	6,635
土地	8,489	8,497
その他	1,118	564
無形固定資産	79	97
投資その他の資産	1,782	1,737
投資有価証券	1,036	914
退職給付に係る資産	477	482
繰延税金資産	66	119
その他	232	251
貸倒引当金	△30	△30
資産合計	40,551	39,955

(単位:百万円)

	平成28年度 (平成28年3月31日現在)	平成27年度 (平成27年3月31日現在)
負債の部	20,493	20,483
流動負債	14,697	14,448
支払手形及び買掛金	4,661	5,756
電子記録債務	2,337	140
短期借入金	4,315	3,986
1年内返済予定 長期借入金	398	483
未払費用	1,238	1,865
賞与引当金	466	480
営業外支払手形	535	227
その他	745	1,508
固定負債	5,795	6,035
再評価に係る 繰延税金負債	1,783	1,783
退職給付に係る負債	3,227	3,261
その他	783	989
純資産の部	20,058	19,472
株主資本	18,869	18,415
資本金	15,669	15,669
資本剰余金	1,139	1,139
利益剰余金	2,097	1,642
自己株式	△37	△37
その他の包括利益累計額	1,189	1,056
その他有価証券 評価差額金	195	113
繰延ヘッジ損益	5	-
土地再評価差額金	1,360	1,346
退職給付に係る 調整累計額	△371	△402
負債・純資産合計	40,551	39,955

単位未満切捨て

連結損益計算書

(単位:百万円)

	平成28年度 (平成28年4月1日から 平成28年3月31日まで)	平成27年度 (平成27年4月1日から 平成27年3月31日まで)
売上高	36,337	38,252
売上原価	31,767	33,116
売上総利益	4,570	5,135
販売費及び一般管理費	3,898	3,804
営業利益	671	1,331
営業外収益	291	278
営業外費用	125	133
経常利益	836	1,475
特別利益	13	0
特別損失	102	135
税金等調整前 当期純利益	747	1,340
法人税、住民税 及び事業税	63	169
法人税等調整額	△4	125
親会社株主に 帰属する当期純利益	688	1,046

単位未満切捨て

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	平成28年度 (平成28年4月1日から 平成28年3月31日まで)	平成27年度 (平成27年4月1日から 平成27年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	2,539	2,207
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,889	△1,119
財務活動による キャッシュ・フロー	△170	△507
現金及び現金同等物 の増減額(減少△)	479	579
現金及び現金同等物 の期首残高	1,036	456
現金及び現金同等物 の期末残高	1,516	1,036

単位未満切捨て

》会社データ

会社概要(平成29年3月31日現在)

会社名	日本高周波鋼業株式会社
設立	昭和25年5月18日
資本金	156億69百万円
所在地	〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-5 TEL 03-5687-6023(代) FAX 03-5687-6047
上場	東京証券取引所1部上場
売上高	連結 363億37百万円(平成28年度実績) 単体 229億88百万円(平成28年度実績)
従業員数	連結 1,217名 単体 543名
事業内容	高級特殊鋼および特殊合金の製造販売 各種高級特殊鋼および特殊合金の線・棒・鍛造品・加工品
主要取引銀行	みずほ、三井住友、三菱東京UFJ、 みずほ信託、三菱UFJ信託、富山第一

役員(平成29年6月27日現在)

代表取締役社長	河瀬 昌博
代表取締役専務	久留島 靖章
常務取締役	山名 壽
常務取締役	湖東 彰弘
常務取締役	堂野 和洋
取締役	中尾 大輔
取締役	堀川 健一
取締役	定村 剛
取締役	山地 敏行
取締役	丹羽 範光
取締役	宮島 哲也
監査役	古瀬 司
監査役	中條 芳治
監査役	小松 伯正
監査役	松本 博明

(注) 1. 丹羽 範光、宮島 哲也の両氏は社外取締役であります。
2. 小松 伯正、松本 博明の両氏は社外監査役であります。

》株主データ(平成29年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	240,000,000株
発行済株式の総数	146,578,309株(自己株式297,865株を除く)
株主数	11,345名

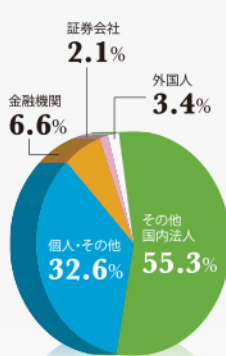
●大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社神戸製鋼所	75,753	51.68%
浅井産業株式会社	2,712	1.85%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,783	1.21%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,602	1.09%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,399	0.95%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	1,303	0.88%
豊田通商株式会社	1,100	0.75%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	1,065	0.72%
林 良策	880	0.60%
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	809	0.55%

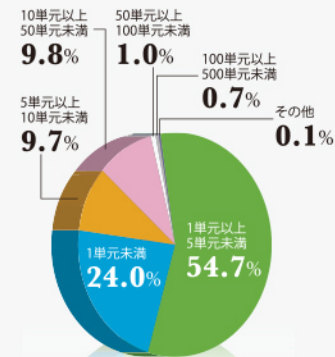
(注)持株比率は自己株式(297千株)を控除して計算をしております。

株式分布状況

●所有者別株式数



●所有単元数別株主数



日本高周波鋼業株式会社

本社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-5 TMMビル8階
TEL 03-5687-6023(代) FAX 03-5687-6047

大阪支店

〒530-0022 大阪府大阪市北区浪花町12-24 赤坂天六ビル7階
TEL 06-4802-1480(代) FAX 06-4802-1481

名古屋支店

〒489-0071 愛知県瀬戸市暁町9 株式会社カムス 中部テクノセンター内
TEL0561-86-9005 FAX0561-86-9008

Bangkok Liaison Office

39/9 Rama 3Rd., Chongnonsee, Yannawa, Bangkok
10120, Thailand
TEL 66-2294-9258 FAX 66-2294-9260

富山製造所

〒934-8502 富山県射水市八幡町3-10-15
TEL 0766-84-3181(代) FAX 0766-84-3468

グループ会社

高周波鋳造株式会社

〒031-0071 青森県八戸市沼館4-7-108
TEL 0178-43-0127 FAX 0178-22-2468

高周波精密株式会社

〒272-0003 千葉県市川市東浜1-1
TEL 047-328-3201 FAX 047-328-6797

株式会社カムス

〒373-0014 群馬県太田市植木野町328
TEL 0276-40-5005 FAX 0276-40-5008

エヌケイ精工株式会社

〒934-0025 富山県射水市八幡町3-10-15
TEL 0766-84-3175 FAX 0766-84-3137

麦卡発商貿(上海)有限公司

上海市徐匯区肇嘉浜路777号 青松城大酒店10階1004号
TEL 86-21-6443-5061 / 5062 FAX 86-21-6443-5066

株式会社東北コアセンター

〒031-0071 青森県八戸市沼館4-7-108 高周波鋳造内
TEL 0178-46-1856 FAX 0178-43-0153

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から3月31日まで

定時株主総会 毎年6月中に開催

株主名簿管理人 〒103-8670 東京都中央区八重洲1-2-1

事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社本店証券代行部

1単元の株式数 1,000株

公告方法

電子公告により行います。

公告掲載URL ▶ <http://www.koshuha.co.jp>

ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

●郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話 お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配 当金受取り方法の 変更等)	お取引の証券会社等 になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の 店舗)でもお取扱いたします
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行※およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	みずほ信託銀行 本店および全国各支店※ ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
ご注意	支払明細発行については、右の 「特別口座の場合」の郵便物送 付先・電話お問い合わせ先・各種手 続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買 取・買増以外の株式売買はできませ ん。証券会社等に口座を開設し、株 式の振替手続を行っていただく必 要があります。

当社のホームページでも詳しい情報を同時に開示しております。

ぜひ併せてご覧ください。

<http://www.koshuha.co.jp>

日本高周波 |

検索

